

メタル回線のコストの在り方に関する検討会(第5回会合)議事概要

1. 日時:平成25年5月21日(火)16:00~17:35
2. 場所:中央合同庁舎第2号館10階 共用10階会議室
3. 出席者

(1) 構成員(五十音順、敬称略)

相田 仁、泉本 小夜子、関口 博正(座長代理)、高橋 賢、東海 幹夫(座長)

(2) オブザーバ

東日本電信電話株式会社 北村 亮太 経営企画部営業企画部門長、

飴嶋 隆嗣 財務部会計部門・原価管理部門長

西日本電信電話株式会社 池富 保 経営企画部営業企画部門担当部長、

山上 滋彦 財務部会計部門・原価管理部門長

(3) 事務局(総務省)

安藤電気通信事業部長、吉田事業政策課長、二宮料金サービス課長、

海野料金サービス課企画官、内藤料金サービス課課長補佐

4. 議事要旨

- NTT東西より『メタル回線に係る設備における耐用年数の検討結果』(資料5-1)について、事務局より『「メタル回線のコストの在り方に関する検討会」報告書(案)』(資料5-2)及び『「メタル回線のコストの在り方に関する検討会」報告書(案)に対する意見及びそれに対する考え方(案)』(資料5-3)について、それぞれ説明し、その後質疑応答及び意見交換が行われた。
- 資料5-2及び資料5-3について、一部修正の上、『「メタル回線のコストの在り方に関する検討会」報告書』及び『「メタル回線のコストの在り方に関する検討会」報告書(案)に対する意見及びそれに対する考え方』とすることが決定された。

5. 議題

- (1) メタル回線に係る設備における耐用年数の検討結果について
- (2) 「メタル回線のコストの在り方に関する検討会」報告書(案)について
- (3) 「メタル回線のコストの在り方に関する検討会」報告書(案)に対する意見及びそれに対する考え方(案)について

6. 議事概要

(1) メタル回線に係る設備における耐用年数の検討結果について

NTT東西より『メタル回線に係る設備における耐用年数の検討結果について』(資料5-1)について説明し、その後質疑応答及び意見交換が行われた。質疑応答及び意見交換の概要は以下のとおり。

- ・ NTTでは全ての設備について残存価額を5%となるまで償却しているようだが、これは税法

の影響によるものと理解して良いか。

NTT 東西 メタルケーブルでは、廃棄時の銅の価値を勘案して残存価額を5%となるまで償却している。

- ・ 耐用年数の推計結果について、建設法と撤去法での推計結果がほぼ同値であることは珍しいのではないかと。

NTT 東西 メタルケーブルは従来からある設備なのでこのような結果となったのではないかと。新しい設備やネットワーク構築を続けている設備だとおそらく撤去法と建設法で推計値は一致しないのではないかと。

(2) 「メタル回線のコストの在り方に関する検討会」報告書(案)について

事務局より『「メタル回線のコストの在り方に関する検討会」報告書(案)』(資料5-2)について説明し、その後質疑応答及び意見交換が行われ、「メタル回線のコストの在り方に関する検討会」報告書(案)について一部修正の上、公表することとなった。質疑応答及び意見交換の概要は以下のとおり。

- ・ 報告書(案)P22 等において、「残存価額」と「残存価格」の2通りの記載があるが、どちらが正しいのか。
- ・ 「残存価額」が正しい。

事務局 「残存価格」とされている箇所については、全て「残存価額」に修正したい。

- ・ 本検討会での耐用年数等の見直しによって、実際のコストが変わった訳ではなく、コストの計算方法が変わったものと理解している。東日本大震災のケースについても言えるが、震災等の影響が尾を引かないように、制動のメカニズムを一般論として取り入れるのが好ましいと思っている。ただ、調整額制度に起因するドライカップ接続料の急激な変動への対応について、具体的にどうすべきかのアイデアはないので、是非総務省で検討いただきたい。
- ・ 過去に耐用年数を見直した際には調整額に関して検討されなかったのか。

事務局 過去の見直しの際には検討されていなかったが、過去の見直しの際と比べて今回の見直しは影響が大きくなっているため、何らかの措置をとる必要性が以前より大きいと考える。

- ・ 接続料への影響をならすのであれば、メタル回線コストの見直しによる費用削減額を平成26年度と平成27年度とで半分ずつとすれば影響を少しならすことができるのではないかと。

事務局 ご提案の方法も含め色々な方法が考えられるが、総務省においては接続料規則の範囲でどのように扱うのかということと併せて検討したい。

- ・ 制御理論は制御に遅れ時間があった場合にどのように制動を行うかについての理論であったと思料。参考にしてみてもどうか。
- ・ 調整額制度に起因するドライカップ接続料の急激な変動への対応については、総務省で初めて検討すること。本報告書では、講じるべき措置を総務省にて検討することを示唆することとし、後に影響がでてきた時には改めて検討していただければと思っている。

(3) 「メタル回線のコストの在り方に関する検討会」報告書(案)に対する意見及びそれに対する考え方(案)について

事務局より『「メタル回線のコストの在り方に関する検討会」報告書(案)に対する意見及びそれに対する考え方(案)について』(資料5-3)について説明し、その後質疑応答及び意見交換が行われ、資料5-3を一部修正の上、公表することとなった。質疑応答及び意見交換の概要は以下のとおり。

- ・ 考え方(案)12等における「今後の検討については総務省において参考とすることが適当である。」との記載について、主語が不明確なので、「今後の検討に関する意見については総務省において参考とすることが適当である。」とした方が良いのではないかと。
- ・ 考え方(案)12を3つの段落に分けている理由は何か。

事務局 論点ごとに段落を分けている。意見12では前半の賛同意見のほか、「未利用芯線コストに係る会計処理の取扱い等を含めて引き続き検討が進められることが期待される」とあり、「等」に対しての考え方として「今後の検討については、総務省において参考とすることが適当である」としていたもの。

また、相田構成員指摘のとおり、「に関する意見」を追記した方がより明確になると思われるため、当該箇所と同じ表現をしている箇所も含め修正したい。

- ・ 本検討会の議論の中でユニバーサルサービスについても触れることとなった。数年前から、新たな環境下でのユニバーサルサービスの在り方について議論を進めるべきではないかという意見が多く出てきていたが、残念ながら、まだ議論が進んでいないことから、報告書(案)等の書きぶりについて事務局でも苦心した点があったと思う。

また、本検討会では配賦方法が議論の中核になったが、環境に大きな変化がないような状況であっても、配賦に絶対的な方法はない。場合によっては、配賦方法が偏っているとの指摘を受ける可能性や、損益計算に影響を及ぼす可能性があるといった難しさが存在する。本検討会では、マイグレーションの環境の中、接続料の観点で整理を行ったが、国際会計での減価償却費の扱い等、新たな観点全てに合わせて議論をしては整理できなかったのではないかと考えており、そういった意味で前提を置いて議論を行ったことは良かったのではないかと。

- ・ 個人の方からの意見を見ると、本検討会の位置づけが意見募集の際に浸透していなかったのではないかと感じた。
- ・ 意見29の2段落目にある「メタル回線へのユニバーサル制度への不適用が可能となるのではないかと」という意見等に関し、本検討会の本題とは関係ないが、提出された意見にできるだけ丁寧に答えるという観点から、他の研究会等での考え方として追記できるものはないか。

事務局 総務省の既存の考え方でのようなものはないかと思うが、念のため調べてみる。ただ、本検討会の考え方として、検討対象外のものについて他の議論の場での考え方を記載することにはなじまないと考えられる。

- ・ 考え方(案)5の3段落目の書きぶりは、報告書にも同様の記載があるのか。
事務局 書きぶりは若干異なるが、報告書(案)P16 のなお書きの箇所を踏まえて記載している。
書きぶりが異なる点としては、総務省において特別損失を適正な接続料原価として認められるものか否か検討を行うことが必要であるとしている点。
- ・ 考え方(案)において、NTTが減損損失を認識した場合についてまで言及する必要はないのではないかという印象。現に、考え方(案)28のメタル回線の廃止については、将来について言及していない。NTTはネットワーク設備全体を一つの資産グループとして整理し、ネットワーク設備全体について減損損失を認識するかどうかの判定を行っている。NTTが減損損失を認識した場合について、報告書で言及することは構わないが、可能性がほとんどないのであれば、考え方に記載することは踏み込みすぎている気がする。
- ・ 可能性は別として会計的な考え方を記載したということではないか。
- ・ 『「メタル回線のコストの在り方に関する検討会」報告書(案)』及び『「メタル回線のコストの在り方に関する検討会」報告書(案)』に対する意見及びそれに対する考え方(案)』については、一部修正の上、『「メタル回線のコストの在り方に関する検討会」報告書』及び『「メタル回線のコストの在り方に関する検討会」報告書(案)』に対する意見及びそれに対する考え方』として公表することとしたいがよろしいか。

構成員一同 異議なし。

(以上)